

平成26年度 鳥取大学附属小学校研究発表大会

これからの教科・領域の あり方を問う

～思考を高める学びの探究と協同をめざして～
1年次



平成26年度
研究発表大会

全体会 提案

2014. 10. 25(土)
鳥取大学附属小学校

* 本校の教育研究



平成26年度 研究主題

これからの教科・領域の あり方を問う

～思考を高める学びの探究と協同をめざして～
(1年次)

1. 現代社会と学校教育の現状と課題について

日本社会がめざすこと

成熟社会に適合し、知識を基盤とした 自立、協働、
創造モデルとしての生涯学習社会を実現すること

学校教育に求められていること

主体的・能動的な力の育成

世界で活躍できるグローバル人材等の育成

2. 学校教育における子どもたちの現状と課題について

〈課題〉

子どもたちの学ぶ意欲や学力などの 二極化と格差



学校教育において 質の高い教育を提供すること

質の高い教育とは何か



教育研究



**本校の
教育研究**

3. 研究主題について

(1) 主題設定の理由

昨年度までの研究

「子どもたちが確かに思考を高める学び合い」

(児童の姿から)

「成果」

○理由や根拠を述べながら自分の意見や考えを言えるようになってきている。

〈課題〉

●自分の意見や考えと他者のそれらとをつなげる力、他者とかがわかる力が弱い。

(教師の視点から)

教師に必要な「3つの力」

教材研究力

授業実践力

授業力

教科・領域の本質

これからの教科・領域の あり方を問う



(2) 研究主題「これからの教科・領域のあり方を問う」
について

教科・領域の本質とは何か



**教科・領域の特質・本質から捉える
大切にしたいもの**



教科・領域のあり方

(3) 副題～思考を高める学びの探究と協同をめざして～
について

○思考を高める学びの探究

○思考を高める学びの協同



4. 研究方法について

教師の思いや願い

* 各教科・領域のあり方を捉えた
価値と魅力ある単元(題材)の設定

教師が問うことから スタート

ギャップ

思考

* 教材研究をもとにした
教師のしかけや支援

探究

協同的な学び

児童の実態

ご清聴ありがとうございました。

次は、公開学習です。各教室への移動をお願いします。

